



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日
東・大

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所
コード番号 4527 URL http://www.rohto.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野俊昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 斉藤雅也 (TEL) (06)6758-1211
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|--------|------|--------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 92,646 | 5.8 | 10,477 | 6.4 | 10,949 | 3.8 | 7,090 | 1.1 |
| 24年3月期第3四半期 | 87,541 | 5.1 | 11,195 | 11.0 | 11,378 | 8.9 | 7,015 | 5.9 |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 7,334百万円(39.3%) 24年3月期第3四半期 5,266百万円(9.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 60.30 | 60.05 |
| 24年3月期第3四半期 | 59.67 | 59.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 137,343 | 89,079 | 64.3 |
| 24年3月期 | 136,008 | 83,627 | 60.9 |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 88,263百万円 24年3月期 82,773百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | | 8.00 | | 8.00 | 16.00 |
| 25年3月期 | | 8.00 | | | |
| 25年3月期(予想) | | | | 9.00 | 17.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 127,000 | 5.6 | 14,200 | 4.2 | 14,400 | 5.2 | 8,500 | 3.9 | 72.28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 有
 - 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期3Q | 117,924,768株 | 24年3月期 | 117,919,596株 |
| 期末自己株式数 | 25年3月期3Q | 332,735株 | 24年3月期 | 330,789株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期3Q | 117,590,778株 | 24年3月期3Q | 117,585,088株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 . 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3 . 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費マインドの低下に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、欧米諸国の財政不安や景気の低迷により長期化する円高の影響を受け、先行きの景況感が極めて不透明な状況が続いております。また、海外におきましては、中国や新興国の景気拡大に牽引され、緩やかながらも回復傾向が続いたものの、欧州における財政危機の影響や、米国での失業率の高止まりなどにより、経済の回復は停滞した状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は926億4千6百万円（前年同期比 5.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上が堅調に推移したものの、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は104億7千7百万円（同 6.4%減）、経常利益は109億4千9百万円（同 3.8%減）、法人税等の減少により四半期純利益は70億9千万円（同 1.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

外部顧客への売上高は、659億4千6百万円（前年同期比 3.4%増）となりました。

日本のヘルスケア市場は、業種業態を越えた企業の新規参入など市場競争が激化しデフレが進行していることに加え、長引く円高の影響もあり、先行きの景況感是不透明なまま推移いたしました。また、消費者の生活防衛意識の高まりから消費マインドが冷え込んでおり、厳しい経営環境が続いております。

そのような中であって、整肌保湿成分のPQQ（ピロロキノリンキノン）を世界で初めて配合した美容液「オバジ アクティブベース PQエッセンス」やハリ・弾力に重要なコラーゲンやエラスチンに着目したエイジングケア「オバジ ダーマフォース」シリーズをはじめとした「オバジ」ブランドが好調に推移いたしました。また、かかと水虫という新市場を開拓した新製品の「メンソレータム エクシブ ディープ10クリーム」や高付加価値型目薬の「解眼新書」シリーズ等の医薬品も好調に推移しております。さらに、通販限定商品の成長期応援飲料「セノビック」が好調に推移し、増収となりました。一方で、「肌研（ハダラボ）」につきましては、前年同期のディズニーキャンペーンの反動もあり減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費等の増加により、78億8千6百万円（同 12.2%減）となりました。

（アメリカ）

外部顧客への売上高は、39億7千4百万円（前年同期比 1.0%減）となりました。

米国での失業率の高止まりや消費の停滞もあり、厳しい経営環境が続いております。「ROHTO cool」を中心に目薬が順調に推移したものの、主力製品の「softlips」が減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上高が減少したものの、広告費及び販売促進費の効率的な活用に努めました結果、3億3千3百万円（同 50.0%増）となりました。

（ヨーロッパ）

外部顧客への売上高は、29億8千4百万円（前年同期比 0.7%減）となりました。

ヨーロッパ全体の財政危機の影響で市場環境が好転しなかったこともあり、厳しい経営環境となりました。消炎鎮痛剤「DEEP HEAT」シリーズは堅調に推移いたしましたが、「OXY」等が減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上高が減少したものの、広告費及び販売促進費の効率的な活用に努めました結果、2億7千1百万円（同 234.8%増）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、184億3千4百万円(前年同期比 17.4%増)となりました。

中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研(ハダラボ)」や、男性用化粧品「Mentholatum Men」、日焼け止め「サンプレイ」などのスキンケア関連が好調に推移し、増収に寄与いたしました。

セグメント利益(営業利益ベース)につきましては、「肌研(ハダラボ)」等への販売促進費が増加したものの、増収が寄与したことにより18億4百万円(同 3.2%増)となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は13億7百万円(前年同期比 24.1%増)となりました。

セグメント利益(営業利益ベース)につきましては、8千4百万円(同 48.1%増)となりました。

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,373億4千3百万円となり、前連結会計年度末より13億3千5百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が30億5千8百万円、現金及び預金が20億5千7百万円減少した一方、投資その他の資産のその他が24億8千7百万円、商品及び製品が13億3千5百万円、原材料及び貯蔵品が9億3千8百万円、有形固定資産が5億9千7百万円、投資有価証券が5億1千8百万円、流動資産のその他が5億7百万円増加したこと等によるものであります。

負債は482億6千4百万円となり、前連結会計年度末より41億1千6百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が5億7千4百万円増加した一方、未払法人税等が16億3千2百万円、未払費用が13億2千8百万円、賞与引当金が9億7千3百万円、長期借入金が9億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては890億7千9百万円となり、前連結会計年度末より54億5千2百万円増加しました。これは、利益剰余金が52億9百万円、為替換算調整勘定が1億6千9百万円、その他有価証券評価差額金が1億1千7百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済状況は、景気回復への期待が膨らむものの、日本における個人消費は力強さを欠き、先行きの景況感は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、当第3四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成24年11月9日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。

なお、通期の連結業績予想に用いた為替レートは〔80円=1USD〕と当初公表時より変更しておりません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,381 | 13,323 |
| 受取手形及び売掛金 | 31,898 | 28,839 |
| 商品及び製品 | 10,913 | 12,249 |
| 仕掛品 | 1,161 | 1,423 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,931 | 6,869 |
| その他 | 6,088 | 6,595 |
| 貸倒引当金 | 94 | 67 |
| 流動資産合計 | 71,280 | 69,234 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 19,022 | 19,297 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 9,342 | 9,825 |
| その他(純額) | 14,262 | 14,102 |
| 有形固定資産合計 | 42,628 | 43,225 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 958 | 814 |
| その他 | 1,315 | 1,270 |
| 無形固定資産合計 | 2,273 | 2,085 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 14,945 | 15,464 |
| その他 | 5,008 | 7,496 |
| 貸倒引当金 | 128 | 161 |
| 投資その他の資産合計 | 19,826 | 22,798 |
| 固定資産合計 | 64,727 | 68,109 |
| 資産合計 | 136,008 | 137,343 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,525 | 11,100 |
| 短期借入金 | 5,103 | 4,673 |
| 未払費用 | 16,029 | 14,701 |
| 未払法人税等 | 2,755 | 1,123 |
| 賞与引当金 | 1,861 | 887 |
| 役員賞与引当金 | 30 | 22 |
| 返品調整引当金 | 700 | 730 |
| 売上割戻引当金 | 2,651 | 2,170 |
| その他 | 5,277 | 5,826 |
| 流動負債合計 | 44,935 | 41,235 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,335 | 2,410 |
| 退職給付引当金 | 1,843 | 1,873 |
| 役員退職慰労引当金 | 69 | 72 |
| その他 | 2,197 | 2,671 |
| 固定負債合計 | 7,445 | 7,028 |
| 負債合計 | 52,380 | 48,264 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,405 | 6,408 |
| 資本剰余金 | 5,524 | 5,527 |
| 利益剰余金 | 73,814 | 79,024 |
| 自己株式 | 270 | 272 |
| 株主資本合計 | 85,475 | 90,688 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,013 | 3,131 |
| 為替換算調整勘定 | 5,133 | 4,964 |
| 在外子会社の年金債務調整額 | 581 | 592 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,701 | 2,425 |
| 新株予約権 | 579 | 573 |
| 少数株主持分 | 273 | 242 |
| 純資産合計 | 83,627 | 89,079 |
| 負債純資産合計 | 136,008 | 137,343 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 87,541 | 92,646 |
| 売上原価 | 36,216 | 38,285 |
| 売上総利益 | 51,324 | 54,361 |
| 返品調整引当金繰入額 | - | 30 |
| 返品調整引当金戻入額 | 67 | - |
| 差引売上総利益 | 51,392 | 54,331 |
| 販売費及び一般管理費 | 40,196 | 43,854 |
| 営業利益 | 11,195 | 10,477 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 64 | 90 |
| 受取配当金 | 378 | 354 |
| 持分法による投資利益 | 34 | 153 |
| その他 | 126 | 168 |
| 営業外収益合計 | 604 | 766 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 168 | 134 |
| その他 | 252 | 160 |
| 営業外費用合計 | 420 | 294 |
| 経常利益 | 11,378 | 10,949 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 202 | - |
| 国庫補助金 | - | 319 |
| 特許関連収入 | 281 | - |
| 特別利益合計 | 484 | 319 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 484 |
| 貸倒引当金繰入額 | 35 | - |
| 特別損失合計 | 35 | 484 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,828 | 10,784 |
| 法人税等 | 4,829 | 3,723 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,998 | 7,061 |
| 少数株主損失() | 17 | 29 |
| 四半期純利益 | 7,015 | 7,090 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,998 | 7,061 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 776 | 116 |
| 為替換算調整勘定 | 979 | 166 |
| 在外子会社の年金債務調整額 | 22 | 10 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 1,732 | 273 |
| 四半期包括利益 | 5,266 | 7,334 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,316 | 7,366 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 49 | 32 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント (注) 1 | | | | | その他 (注) 2 | 合計 | 調整額 (注) 3 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4 |
|-------------------------------|---------------|-------|-------|--------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 日本 | アメリカ | ヨーロッパ | アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 63,764 | 4,012 | 3,004 | 15,705 | 86,487 | 1,053 | 87,541 | | 87,541 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | 1,120 | 874 | 2 | 1,243 | 3,240 | 13 | 3,253 | 3,253 | |
| 計 | 64,884 | 4,886 | 3,006 | 16,949 | 89,727 | 1,067 | 90,795 | 3,253 | 87,541 |
| セグメント利益 | 8,981 | 222 | 80 | 1,748 | 11,033 | 56 | 11,090 | 104 | 11,195 |

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額104百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント (注) 1 | | | | | その他 (注) 2 | 合計 | 調整額 (注) 3 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4 |
|-------------------------------|---------------|-------|-------|--------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 日本 | アメリカ | ヨーロッパ | アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 65,946 | 3,974 | 2,984 | 18,434 | 91,339 | 1,307 | 92,646 | | 92,646 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | 1,011 | 942 | 1 | 1,713 | 3,668 | 14 | 3,682 | 3,682 | |
| 計 | 66,957 | 4,916 | 2,985 | 20,147 | 95,007 | 1,322 | 96,329 | 3,682 | 92,646 |
| セグメント利益 | 7,886 | 333 | 271 | 1,804 | 10,295 | 84 | 10,379 | 97 | 10,477 |

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額97百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。